

 **PGM 世界ジュニアゴルフ選手権  
日本代表選抜大会**

**中国・四国予選 尾道 GC (広島)**

**予選大会結果のお知らせ**

**<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 中国・四国予選>**

- ◇2016年3月5日(土) 天候:晴れ
- ◇広島・尾道 GC (15-17歳男子 6622ヤード、パー72 ほかカテゴリー別)
- ◇出場 66人

**<中国・四国予選 概況>**

15-17歳の部男子は、公受(おおやけ)将輝(愛媛・帝京第五高1年)が、後続を1打振り切るオーバー74をマークして、1位で西日本決勝大会(4月2、3日、佐賀・若木GC)に進んだ。同女子は168センチの大型選手、大西菜生(愛媛・三島西中3年)が6オーバー78ながら高校生らをかわしてトップ通過を果たした。13-14歳の部では、男子は竹内瑛信(愛媛・内宮中1年)、女子は塩澄英香(福岡・内浜中2年)がそれぞれ1位で進出した。西日本決勝大会でIMG A世界ジュニアゴルフ選手権(7月、米国サンディエゴ)の西日本ブロックの日本代表が決まる。

**<中国・四国予選 予選結果>** 西日本決勝の進出者は以下の通り。\*敬称略

▽15-17歳男子

- 【1位】公受将輝(愛媛・帝京第五高1年) = 74 【2位】岡田大樹(広島・河内中3年) = 75
- 【3位】村田幸太郎(愛媛・帝京第五高1年) = 75 【4位】坂本柊人(広島・瀬戸内高1年) = 75
- 【5位】河本力(愛媛・松山聖陵高1年) = 76 【6位】落合凌(香川・高松北中3年) = 77

▽同女子

- 【1位】大西菜生(愛媛・三島西中3年) = 78 【2位】雪野若葉(兵庫・山口中3年) = 80
- 【3位】後藤田寧々(徳島・香川西高2年) = 82

▽13-14歳男子

- 【1位】竹内瑛信(愛媛・内宮中1年) = 78 【2位】松浦佑斎(岡山・総社西中2年) = 79
- 【3位】原田大空(そら、広島・三原第三中1年) = 84

▽同女子

- 【1位】塩澄英香(はなか、福岡・内浜中2年) = 78 【2位】梅津真優美(山口・マシューCペリースクール6年) = 80
- 【3位】高木美空(みく、兵庫・大池中2年) = 81 【4位】岩崎星乃(福岡・志免中1年) = 83

▽11-12歳男子

- 【1位】杉原亜規(奈良・生駒東小5年) = 89 【2位】佐藤大空(そら、広島・駅家東小6年) = 94

▽同女子

- 【1位】久崎成(くざきなる、岡山・芳明小6年) = 75

▽9-10歳男子

- 【1位】竹内康晴(愛媛・和気小4年) = 84 【2位】橋平真人(まひと、兵庫・園和小4年) = 92

▽同女子

- 【1位】松原柊亜(しゅあ、栃木・鹿沼東小3年) = 80 【2位】薮内優衣(兵庫・志方小4年) = 82

▽7-8歳男子

- 【1位】梶谷駿(岡山・総社東小2年) = 72

(注) 同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

### <中国・四国予選 ハイライト1>

#### ◇15-17歳の部男子◇広島・尾道GC（15-17歳の部男子／6622ヤード、パー72）

公受（おおやけ）将輝（愛媛・帝京第五高1年）が接戦を制して1位で西日本決勝大会（4月2、3日、佐賀・若木GC）に進出した。トップの組でホールアウトしたときには「前半が悪かったので、決勝にいけるか心配」と思っていたが、終わってみれば後続組も伸びなかった。前半は8番で「18メートルぐらいが入った」というバーディーもあったが、出入りの激しいゴルフで3オーバー。折り返してからやっと安定してきた。13番で3メートル、15番では10メートルを決め、ボギーを1つに抑えて、74で回った。「何しに来たか分からないので、決勝には進みたかった」とホッとした表情。珍しい苗字で「だれも1回では呼んでくれない」と笑う。西日本決勝大会に向けて「欠点が数え切れないぐらい見つかった。まずはアイアンの距離が合わないのを修正しないと」と、課題を挙げていた。

### <中国・四国予選 ハイライト2>

#### ◇15-17歳の部女子◇広島・尾道GC（15-17歳の部女子／6266ヤード、パー72）

大西菜生（愛媛・三島西中3年）が6オーバー78で「納得いかない」ながらも、トップで西日本決勝大会（4月2、3日、佐賀・若木GC）に進んだ。「練習ラウンドと同じ感じでクラブを持ったら、風とかで距離感が合わなくなってしまった。パープレーが目標だったのに」と悔しがった。バーディーも13番で1メートルにつけた1つだけにとどまった。「世界に行くきっかけになれば」とこの予選には初めて出場した。168センチと大柄で将来性を感じさせる。「西日本決勝大会ではパーオンを確実にしていくゴルフをしたいです。弾道が高いので風の影響を受けやすいから注意したい」と、この日の反省を糧にする。

### <中国・四国予選 ハイライト3>

#### ◇13-14歳の部女子◇広島・尾道GC（13-14歳の部女子／6266ヤード、パー72）

塩澄英香（はなか、福岡・内浜中2年）がトップで予選を通過し、西日本決勝大会（4月2、3日、佐賀・若木GC）に進んだ。「前半バーディーが取れず波に乗れなかった。後半は頑張ろうという気持ちに切り替えられたのがよかった」と振り返った。インスタートで、折り返して4番で第2打を1メートルにつける初バーディー。得意のパッティングでしので6オーバー78で回った。「小学校の5年生ごろからこの予選に出ている。世界に行きたい気持ちが強いので」といい、小6の時に1度決勝大会に進んだが、世界はつかんでいない。西日本決勝大会に向けては「守りに入ると連続ボギーが出やすいので、攻める気持ちでやりたい」と、今度こそ世界ジュニア切符をつかみたい。



写真： 左／公受将輝（15-17歳の部男子）、中央／大西菜生（15-17歳の部女子）、  
右／塩澄英香（13-14歳の部女子）、写真クレジット：© I J G A 2 0 1 6